CASBEE-建築(新築)2016年版
白十字病院(仮称)

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版
欄に数値またはコメントを記入　■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート　竣工段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.7
Q1 室内環境			0.40		-	3.5
1 音環境		3.0	0.15	3.7	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル	1床室病室の騒音レベル目標値35dB以下	3.0	0.40	4.0	0.40	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.9	0.40	
1 開口部遮音性能	病室外部サッシに遮音性能T-2を採用	3.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能	病室間仕切壁にTLD50相当の遮音壁を採用	3.0	0.60	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境		3.3	0.35	3.2	1.00	3.3
2.1 室温制御		3.6	0.50	3.4	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能	窓仕様UA=4.33W/m2K、外壁UA=0.92W/m2K	4.0	0.25	4.0	0.43	
3 ゾーン別制御性	室条件に従い、冷暖房切替が可能	4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.2	0.25	4.3	1.00	3.3
3.1 昼光利用		2.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	1床室1.39%、4床室1.84%	1.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備	医局等事務室に照度センサー採用	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	低層階はルーバー、病棟階はバルコニーを設置	4.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度	医局、事務室で500lx、病室にて200lx	4.0	0.15	4.0	0.15	
3.4 照明制御	医局・事務室にて4作業単位の照明制御、4床室はベッド毎に照明制	3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境		4.5	0.25	4.6	1.00	4.5
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	ほぼ全面にF☆☆☆☆建材を採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気		3.5	0.30	4.0	0.38	
1 換気量	中央管理方式の空調設備にて換気量30m3/h人	4.0	0.50	4.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	病室の外気は最上階にて取入れ	3.0	0.50	5.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO_2の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御	敷地内禁煙	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		–	0.30	-	-	3.8
1 機能性		3.9	0.40	5.0	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	個室10㎡以上、4床室32.45㎡以上	3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	5.0	0.40	
1 広さ感・景観	病室天井高さ2.7m	3.0	-	5.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画	モデルルームを製作し、内装を事前検証	4.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理		5.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	ノンワックスのビニル床シートの採用、病室バルコニーからのガラス	5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	清掃員控室、各階掃除用具置場の確保	5.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.7	0.30	-	-	3.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	構造重要度係数1.25	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトにステンレスダクトを採用	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		4.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	手術室系統を優先した空調運転、電力2系統引込	5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	節水型器具の採用、井水利用、緊急汚水槽設置	5.0	0.20	-	-	
3 電気設備	非常用発電機の設置、手術室に無停電電源設備、電気室7階	5.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	水平震度1.5の耐震設計	4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	サーバー室3階、防災電話設置	5.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.8	0.30	3.8	1.00	3.8
3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	4.6	0.50	
1 階高のゆとり	低層階階高4.2m以上、病棟階階高4.0m	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率　全体0.13、病棟0.21	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.8	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性	EPS内にて電気配線の更新修繕可能	5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性	EPS内にて電気配線の更新修繕可能	5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性	7階屋上にて熱源機器更新スペースを確保	5.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）		–	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	敷地北側低層住宅地に対して、高層階を南側にセットバック	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	フィットネス広場、外周遊歩道の整備	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-		-	3.4
LR1 エネルギー		–	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPIm＝0.84	4.7	0.20	-	-	4.7
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.85	2.7	0.50	-	-	2.7
4 効率的運用		3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価		3.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	エネルギー消費量目標値を設定し、建築主に提供	4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		–	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護		3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水	節水型器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	雨水中水利用の採用	4.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		4.0	0.60	-	-	4.0
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	基礎、基礎梁に高炉セメントを使用	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	タイルカーペット、ビニル床シート、ビニル床タイル	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+ボード仕上げ材を採用	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.3	0.70	-	-	
1 消火剤	不活性ガス消火剤の採用	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤（断熱材等）		3.0	0.33	-	-	
3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境		–	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率87%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	480台の駐車場を計画、車両引込動線の確保	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-		
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	-	-	